

2026年4月1日 現在

## 安全管理者及び運航管理者に関わる情報

●安全統括管理者：常務取締役 東海林竜哉  
令和4年4月1日選任

●運航管理者：執行役員 大木俊和  
令和4年4月1日選任

## ●事業者情報

- ・事業者名：道東観光開発株式会社
- ・事業者 HP: (夏季) <https://www.ms-aurora.com/shiretoko/>  
(冬季) <https://www.ms-aurora.com/abashiri/>
- ・営業所所在地：(夏季) 北海道斜里郡斜里町ウトロ東 107 番地  
(冬季) 北海道網走市南 3 条東 4 丁目 5-1
- ・事業許可と許可年：旅客不定期航路事業  
おーろら 1990 年  
おーろら 3 2023 年
- ・地域旅客船安全協議会等への加入状況：知床小型観光船協議会加入

## ●船舶情報

船舶保有数：2 隻

### 1) 船名：おーろら

旅客定員：390 名 総トン数 491 トン

救命設備搭載数：救命胴衣（大人用 330 着・子供用 60 着）

救命艇 16 機（1 機につき 25 名乗り）・支援艇 1 機

無線設備：衛星電話・業務用無線設備・携帯電話 搭載

船舶検査証交付年月日：2022 年 12 月 16 日

### 2) 船名：おーろら 3

旅客定員：62 名 総トン数 19 トン

救命設備搭載数：救命胴衣（大人用 71 着・子供用 20 着）

救命艇 3 機（25 名乗り×2 機、16 名乗り×1 機）

無線設備：衛星電話・業務用無線設備・携帯電話 搭載

船舶検査証交付年月日：2024 年 5 月 17 日

※各船舶は運航時に下記の船舶傷害賠償責任保険に加入しております。

一社）日本旅客船協会【日本定航保全株式会社】支払限度額 2 億円/1 名あたり

## ●事故・行政処分情報

過去 5 年間において、安全管理規定の事故処理基準に基づき国へ報告した事故及び行政処分はありません。

# 安全方針

## 1. 船体の点検確認

- 日常点検や機器操作後の確認を徹底するとともに、小さな異常や違和感であっても確実に報告・共有し、トラブルの未然防止を図る。

## 2. 安全の確認

- 旅客の安全を最優先とし、気象・海象および船内状況の変化を的確に把握しながら、安全な運航を行う。
- 異常時には、迅速かつ適切な対応を行い、常に安全意識を持って業務に取り組む。

## 3. 従業員教育の推進

- 安全運航を支える知識と技術の向上を目的として、教育・訓練を業務の実情に即した形で継続的に実施する。
- 法令や運航規則に関する最新情報を共有し、従業員の意識向上を図る。

# 安全重点目標

## 1. 船体の点検確認

- 出航前・帰港後に加え、航行中においても船体・設備の状態を確認し、異常や早期把握に努める。
- 機器操作後の指差し確認を徹底し、操作ミスや確認漏れの防止を図る。
- 異常や違和感を把握した際は、速やかに報告・共有し、適切な対応と判断につなげる。

## 2. 安全の確保

- 気象・海象および船内状況の変化を的確に把握し、安全を最優先とした運航判断を行う。
- 船内・甲板・階段など旅客の動線に注意を払い、見張りや声かけを通じて事故防止に努める。
- 日常業務において基本動作を大切に、「慣れ」や「過信」による油断を排除する。

## 3. 従業員教育の推進

- ヒヤリ・ハット事例や日常業務での気づきを共有し、事故の未然防止につなげる。
- 法令・運航規則・安全に関する情報を共有し、全従業員の安全意識の定着を図る。

(令和8年1月1日～令和8年12月31日用)

## 安全重点目標達成状況

令和7年度 安全重点目標	達成状況
1. 船体の点検確認 ●機器操作後の指差し安全確認 ●甲板・機関ともに異常個所を発見した際、直ちに報告・対応	良
2. 安全の確保 ●気象・海象の情報収集の強化 ●旅客の転倒事故等の防止のため、見張り強化 ●毎月の安全ミーティングで事例共有や意識向上を図る	良
3. 従業員教育の推進 ●緊急時への対応能力の向上のため、教育・訓練を定期的実施	良
令和6年度 安全重点目標	達成状況
1. 船体の点検確認 ●甲板・機関共通異常個所を発見した際、直ちに報告・対応	良
2. 乗客の安全確保 ●気象・海象の情報収集強化 ●旅客の転倒事故等の防止のため、見張り強化 ●緊急時への対応能力の向上のため、教育・訓練を定期的実施	良
3. 慣れ・過信による油断排除 ●機器操作後の指差し安全確認 ●危機予知対策の周知	良